

MV 22 オスプレイ低空飛行に対する意見書

去る7月28日午後6時過ぎ、本村の海岸上空を米軍普天間飛行場所属のMV 22 オスプレイ 2機が低空飛行した。

2機はトリイ通信施設から離陸し、北谷町宮城海岸を低空飛行した後、普天間飛行場へ向かったとみられている。

トリイ通信施設周辺の海域は、大型定置網やジンベイザメのいけすが設置され、漁業やダイビングなどの観光地にもなっている海域である。当日は日曜日の夕方であり、渡具知ビーチでは家族連れや海水浴客で海辺のレジャーを楽しんでいる最中であり、また施設内の観光レストランでも多くの人で賑わっている時であった。

オスプレイの低空飛行は墜落の不安と低周波音による騒音被害で、地域住民の平穏な生活を脅かすものであり断固抗議する。

オスプレイの安全性の問題については、専門家から構造的欠陥が指摘されており、開発段階から配備後の現在まで重大な事故が8回発生し、死亡者数は36人におよび、米本国では「未亡人製造機」と形容されている程である。

2016年12月に起きた名護市安部海岸への墜落事故や2017年8月のオーストラリア沖合での空母への着艦失敗による衝突・墜落事故は記憶にまだ新しいところである。

トリイ通信施設周辺は住宅密集地であり、オスプレイへの拒絶感が強い中、繰り返されるトリイ通信施設へのオスプレイ飛来は村民を大きな不安におとしいれるものである。

よって、読谷村議会は村民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から米軍及び関係機関に対し厳重に抗議するとともに、下記事項について、速やかに実施するよう強く要請する。

記

- 1 トリイ通信施設へのオスプレイ飛来を禁止すること
- 2 トリイ通信施設内の管理着陸帯における訓練を中止すること
- 3 在沖米軍基地の整理縮小と米海兵隊の撤去を図ること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年8月8日

沖縄県読谷村議会

あて先

内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、外務省特命全権大使（沖縄担当）、沖縄防衛局長

MV 22 オスプレイ 低空飛行に対する抗議決議

去る7月28日午後6時過ぎ、本村の海岸上空を米軍普天間飛行場所属のMV 22 オスプレイ 2機が低空飛行した。

2機はトリイ通信施設から離陸し、北谷町宮城海岸を低空飛行した後、普天間飛行場へ向かったとみられている。

トリイ通信施設周辺の海域は、大型定置網やジンベイザメのいけすが設置され、漁業やダイビングなどの観光地にもなっている海域である。当日は日曜日の夕方であり、渡具知ビーチでは家族連れや海水浴客で海辺のレジャーを楽しんでいる最中であり、また施設内の観光レストランでも多くの人で賑わっている時であった。

オスプレイの低空飛行は墜落の不安と低周波音による騒音被害で、地域住民の平穏な生活を脅かすものであり断固抗議する。

オスプレイの安全性の問題については、専門家から構造的欠陥が指摘されており、開発段階から配備後の現在まで重大な事故が8回発生し、死亡者数は36人におよび、米本国では「未亡人製造機」と形容されている程である。

2016年12月に起きた名護市安部海岸への墜落事故や2017年8月のオーストラリア沖合での空母への着艦失敗による衝突・墜落事故は記憶にまだ新しいところである。

トリイ通信施設周辺は住宅密集地であり、オスプレイへの拒絶感が強い中、繰り返されるトリイ通信施設へのオスプレイ飛来は村民を大きな不安におとしめるものである。

よって、読谷村議会は村民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から米軍及び関係機関に対し厳重に抗議するとともに、下記事項について、速やかに実施するよう強く要求する。

記

- 1 トリイ通信施設へのオスプレイ飛来を禁止すること
- 2 トリイ通信施設内の管理着陸帯における訓練を中止すること
- 3 在沖米軍基地の整理縮小と米海兵隊の撤去を図ること

以上、抗議する。

令和元年8月8日

沖縄県読谷村議会

あて先

駐日米国大使、在日米軍司令官、在沖米国総領事、在日米軍沖縄地域調整官